

令和5年度 土木部組織目標

組織名	土木部	部長	土木部長 鈴木 浩信
組織の目的・方向性	<p>市民の日常生活や社会経済活動を支えるため、道路や公園などの都市基盤を整備するとともに、計画的・効率的な維持保全を進め、平時はもとより、災害時・緊急時においても輸送や避難の機能を確保し、将来にわたり市民が安心して暮らせるまちづくりを目指します。</p> <p>また、多様なライフスタイルに合わせ、自転車利用環境の向上に取り組むとともに、鉄道駅利用者の快適性・安全性を高めるため、駅前広場やエレベータの設置などユニバーサルデザインに基づいた整備を推進します。</p>		
(参考) 関連する総合計画における政策指標*	<ul style="list-style-type: none"> ○道路（橋を含む）が適切に整備・管理されていると思う市民の割合 ○都心部で以前と比べ緑が増えたと思う市民の割合 ○身近な公園について、安心・安全で快適に利用できると思う市民の割合 		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

土木部組織目標

土木部では、新潟市総合計画 2030 に基づき、「放射・環状型の道路ネットワークの強化」、「道路施設の長寿命化の推進」、「交通ネットワークの強化・充実」、「都心エリアにおける魅力と価値の向上と地域のニーズに対応した公園の整備・維持管理」に総力を結集して取り組みます。

この方針のもと、今年度は、次の3つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 道路施設や公園など公共インフラの長寿命化の推進
- 2 放射・環状型の道路ネットワークの強化
- 3 都心エリアにおける公民連携による緑化の推進

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

取組結果	重点目標の達成状況	目標数	8	達成数	8
	3つの重点目標を達成するため、土木部各課において8の組織目標を設定し事業に取り組みました。事業を推進した結果、全ての項目について目標を達成しました。				
今後の方向性	能登半島地震により深刻な被害を受けた道路や公園など都市基盤施設の早期の復旧に取り組むとともに、被災された方への支援と今後の災害対策に向け関係機関・関係各部と連携しながら復興事業を推進します。				